

目的

近年、抗菌薬の使用の増加に伴い、耐性菌による感染が問題となっている。

当院の感染防止対策委員会では、広域抗菌薬の使用に関して届出制としているも、その届出率の低さに苦慮している状況である。

届出が100%となることで、広域抗菌薬の使用について把握し、使用の適正化や耐性菌の発現防止に寄与できると考え、簡便なシステム作りに取り組んだ。

現状の把握

感染対策加算

感染防止対策加算 1 : 400点

感染防止地域連携加算 : 100点

計 500点

平均 約45万円/月×12ヶ月

= **年間 約550万円**



* 特定抗菌薬届出率が100%でない
と、返金命令の可能性あり!

当院の抗菌薬使用金額 TOP

No.1	フィニボックス	点滴用 0.25g 250mg	約760万円
No.2	ザイボックス	注射液 600mg 300mL	約640万円
No.3	メロペネム	点滴用 バイアル 0.5g 500mg	約500万円
No.4	ゾシン	静注用 4.5 4.5g	約310万円
No.5	点滴静注用 バンコマイシン	0.5 「MEEK」 0.5g	約280万円



TOP5は特定抗菌薬が独占！！

実態調査

H27年7月1日から7月21日までの**特定抗菌薬使用46例中、届出があったのは15例（32.6%）**であった。

届出の内訳について

- 特定抗菌薬のうち、カルバペネム系抗菌薬の使用は31例、届出2例（届出率6.5%）
- 特定抗菌薬のうち、抗MRSA薬の使用は13例、届出11例（届出率84.6%）
- 抗MRSA薬の届出11例のうち、薬剤科より届出依頼を行った件数6例（ただし、1例は依頼を行うも届出なし）



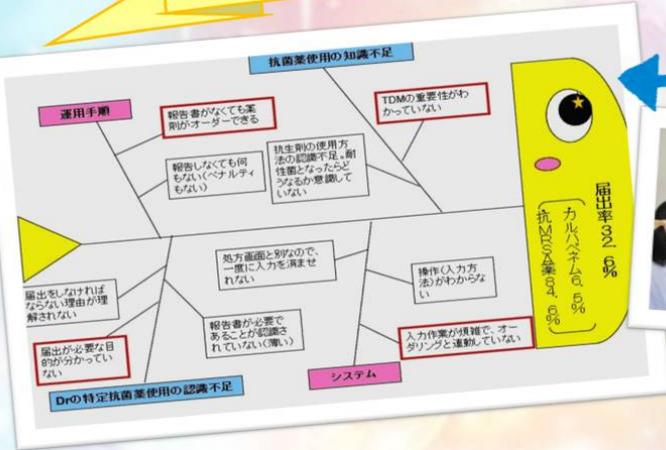
届出率が低い！

目標

特定抗菌薬届出率を100%にする！

改善実施策の検討

Fish bone analysis



薬剤科スタッフ



『特定抗菌薬届出システム』を構築することとした！

特定抗菌薬を
処方します！

特定抗菌薬届出システム♥の概要

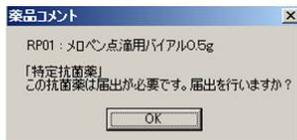
オーダリングシステム

情報は従来と同じものが
薬剤システムに伝達される

薬剤科部門システム

医師が届出が必要な抗菌薬をオーダー

処方画面に表示 ↓ ↑ OKの指示



**特定抗菌薬はポップアップが出るよう設定。
クリックしないと処方が出来ない。**

※従来より、麻薬等で同様のポップアップを運用。



薬剤科部門サーバー



処方箋と使用届の
2枚が印刷される



特定抗菌薬使用届
受け取りました！
すぐにお薬お届け
します！



薬剤師

結果

■ 平成27年11月5日 特定抗菌薬届出制 新体制スタート！

届出率100% 目標達成！！

■ 薬剤科からの特定抗菌薬使用届の入力依頼不要に。
作業時間：約60分 → 0分

時間削減！

■ TDM依頼件数：

平成27年 7月 50% (3件/6件) → 11月 100% (4件/4件)

TDM介入率増加！

まとめ

特定抗菌薬使用時の届出システムの変更により、届出率は100%となった。

さらに、薬剤科から入力依頼を行っていた作業時間は0となり、業務の効率化にも繋がった。

また、届出制変更に伴いTDM業務の様式変更を行い、バンコマイシン初回投与時、TDMの積極的介入を行った結果、TDM介入率が向上した。医師のTDM業務への認識が向上したことは、今回の活動の大きな成果と感じる。

お局様に報告せねば！！

— 特定抗菌薬届出100%を目指して —

ICT 看護師 坪根さん

なお、この題名は当院感染管理認定看護師の坪根淑恵さんの了解を得て設定した。

